

# ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

## 運用報告書(全体版) 第27期

(決算日 2021年6月16日)

(作成対象期間 2020年12月17日～2021年6月16日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
23期末(2019年6月17日)	円 7,734	円 0	% 6.6	10,210	% 6.2	% 94.0	% 3.0	百万円 26,997
24期末(2019年12月16日)	8,063	0	4.3	10,333	1.2	94.9	3.4	24,676
25期末(2020年6月16日)	5,830	0	△ 27.7	8,035	△ 22.2	93.5	4.4	15,219
26期末(2020年12月16日)	7,907	30	36.1	10,907	35.8	93.4	4.9	18,259
27期末(2021年6月16日)	8,546	950	20.1	13,880	27.3	91.9	4.2	15,422

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

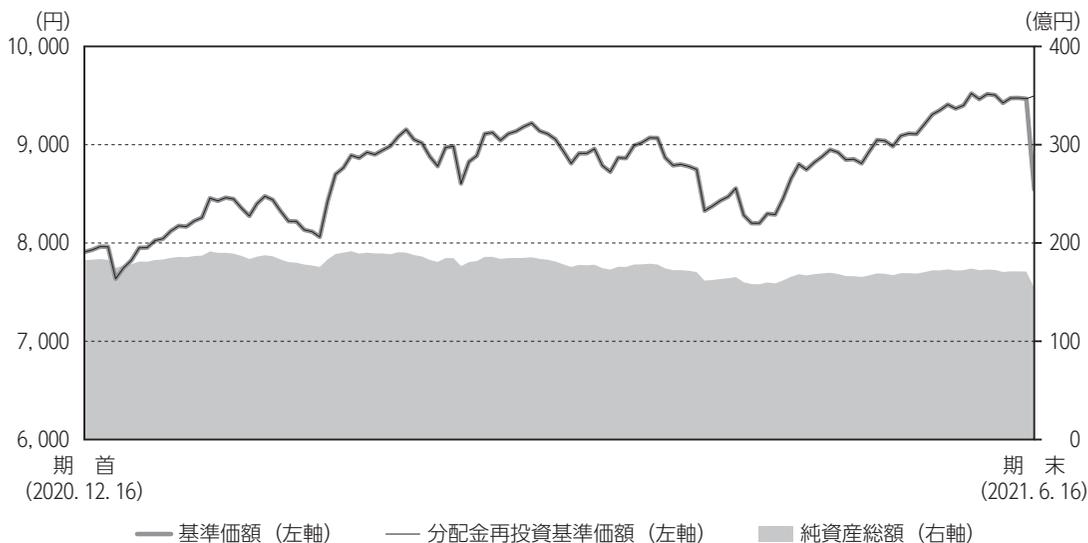
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：7,907円

期末：8,546円（分配金950円）

騰落率：20.1%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてインド株式に投資した結果、積極的な財政支出が示されたインド政府予算案の発表や堅調な企業決算などを背景に保有株式が上昇したことに加え、円安米ドル高の進行を受けて対円でインド・ルピーが上昇（円安）したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I インド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2020年12月16日	7,907	—	10,907	—	93.4	4.9
12月末	8,043	1.7	11,194	2.6	92.7	5.0
2021年 1 月末	8,115	2.6	11,344	4.0	90.6	7.3
2 月末	8,984	13.6	12,461	14.2	88.6	7.8
3 月末	8,991	13.7	12,757	17.0	92.5	4.9
4 月末	8,802	11.3	12,559	15.1	93.9	3.6
5 月末	9,350	18.2	13,417	23.0	93.6	3.7
(期末) 2021年 6 月16日	9,496	20.1	13,880	27.3	91.9	4.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2020. 12. 17 ~ 2021. 6. 16)

## ■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より2021年1月中旬にかけて、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界経済の正常化期待に加え、インド政府によるワクチンの緊急使用の承認や米国における大規模な財政出動への楽観的な見方などを背景に、堅調な展開となりました。しかし1月下旬には、米国株式市場の調整などを受けて利益確定売りが優勢となり下落しました。

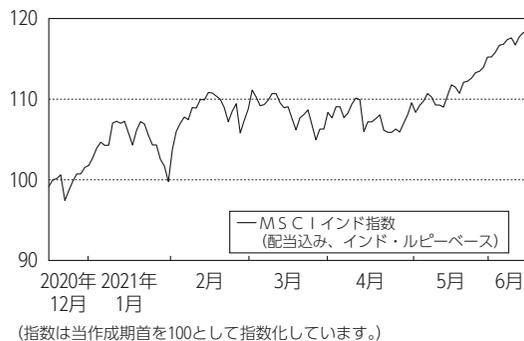
2月に入ると、米国における追加経済対策への期待に加え、インド政府による積極的な財政支出を示した予算案の発表を支援材料に持ち直しました。その後は、米国長期金利の上昇やインドにおける感染再拡大などが警戒された一方、ワクチン接種進展による世界景気の回復期待などが支援材料となり、一進一退の展開となりました。5月から当作成期末にかけては、堅調な企業決算やインドにおける感染第2波のピークアウトを背景に、上昇基調で推移しました。

## ■為替相場

インド・ルピーは、円に対して上昇しました。

インド・ルピー対円為替相場は、当作成期首から2021年3月にかけて、米国長期金利の上昇などを受けた円安米ドル高を主因に、対円で上昇しました。4月には、インドにおける新型コロナウイルスの感染拡大を背景にルピーが対米ドルで下落したことに加え、円高米ドル安も進行したため、対円で下落しました。当作成期末にかけては、インドにおける感染拡大ペースの減速を好感し、対円で堅調に推移しました。

株価指数の推移



為替相場の推移



## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、株価バリュエーション面で投資妙味があり、堅固な財務体質を持つ銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開に伴い業績の回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

## ポートフォリオについて

(2020. 12. 17 ~ 2021. 6. 16)

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

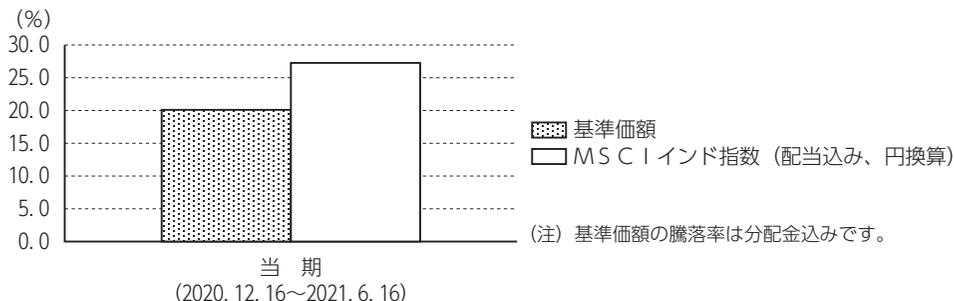
### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績拡大が見込まれる銀行を中心に金融セクター、所得水準の向上などを背景とした個人消費拡大の恩恵が期待される一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。個別銘柄では、堅固な事業基盤を有する民間銀行大手の ICICI BANK LTD-SPON ADR（金融）やデジタル分野が成長をけん引する大手財閥の RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A（エネルギー）などを組入上位としました。また、優秀な経営陣に率いられ資産健全性の改善が見込まれる民間銀行大手の AXIS BANK LTD（金融）や、オートメーション化事業を中心に業績拡大が見込まれるエンジニアリング大手の ABB INDIA LTD（資本財・サービス）などを買い付けました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	当 期	
	2020年12月17日 ～2021年6月16日	
<b>当期分配金(税込み)</b>	<b>(円)</b>	<b>950</b>
対基準価額比率	(%)	10.00
当期の収益	(円)	950
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,489

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 19.80円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 1,317.67
(c) 収益調整金	520.46
(d) 分配準備積立金	581.69
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,439.63
(f) 分配金	950.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,489.63

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020.12.17~2021.6.16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	81円	0.921%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は8,739円です。</b>
(投 信 会 社)	(38)	(0.439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.439)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	29	0.337	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(29)	(0.332)	
(先物・オプション)	(0)	(0.005)	
有 価 証 券 取 引 税	13	0.150	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(13)	(0.150)	
そ の 他 費 用	115	1.317	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.034)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(112)	(1.280)	インドのキャピタルゲイン課税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	238	2.725	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

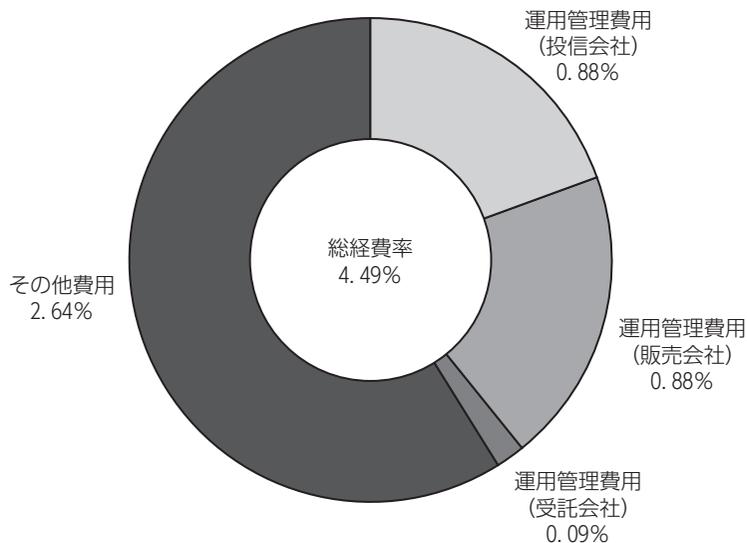
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年12月17日から2021年6月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	18,726	21,000	5,593,176	6,313,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年12月17日から2021年6月16日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	20,134,045千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,294,633千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.23

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	18,333,013	12,758,564	15,394,483

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	15,394,483	88.7
コール・ローン等、その他	1,953,498	11.3
投資信託財産総額	17,347,981	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.16円、1インド・ルピー＝1.51円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(15,354,334千円)の投資信託財産総額(15,405,459千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,347,981,771円
コール・ローン等	1,942,498,180
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	15,394,483,591
未収入金	11,000,000
(B) 負債	1,925,220,568
未払収益分配金	1,714,412,562
未払解約金	46,846,274
未払信託報酬	163,475,287
その他未払費用	486,445
(C) 純資産総額(A-B)	15,422,761,203
元本	18,046,448,028
次期繰越損益金	△ 2,623,686,825
(D) 受益権総口数	18,046,448,028口
1万口当り基準価額(C/D)	8,546円

\* 期首における元本額は23,092,656,976円、当作成期間中における追加設定元本額は675,449,603円、同解約元本額は5,721,658,551円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,546円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,623,686,825円です。

■損益の状況

当期 自 2020年12月17日 至 2021年6月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 11,251円
受取利息	1,159
支払利息	△ 12,410
(B) 有価証券売買損益	2,982,002,431
売買益	3,434,483,215
売買損	△ 452,480,784
(C) 信託報酬等	△ 163,961,808
(D) 当期損益金 (A + B + C)	2,818,029,372
(E) 前期繰越損益金	645,397,415
(F) 追加信託差損益金	△ 4,372,701,050
(配当等相当額)	( 939,250,717)
(売買損益相当額)	(△ 5,311,951,767)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 909,274,263
(H) 収益分配金	△ 1,714,412,562
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,623,686,825
追加信託差損益金	△ 4,372,701,050
(配当等相当額)	( 939,250,717)
(売買損益相当額)	(△ 5,311,951,767)
分配準備積立金	1,749,014,225

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：43,983,960円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	35,740,080円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,377,942,390
(c) 収益調整金	939,250,717
(d) 分配準備積立金	1,049,744,317
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,402,677,504
(f) 分配金	1,714,412,562
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,688,264,942
(h) 受益権総口数	18,046,448,028口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	950円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

## 運用報告書 第27期 (決算日 2021年6月16日)

(作成対象期間 2020年12月17日～2021年6月16日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
株式組入制限	無制限

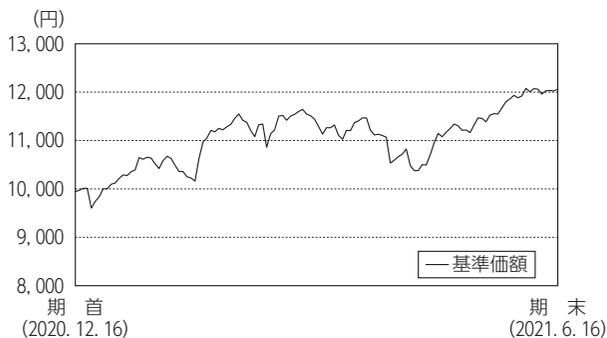
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入 率	株式 先比 率
	円	騰落率 (%)	騰落率 (参考指数)	騰落率 (%)		
(期首) 2020年12月16日	9,942	—	10,915	—	93.5	4.9
12月末	10,121	1.8	11,202	2.6	92.9	5.0
2021年1月末	10,227	2.9	11,352	4.0	90.8	7.3
2月末	11,340	14.1	12,470	14.2	88.7	7.8
3月末	11,368	14.3	12,766	17.0	92.7	4.9
4月末	11,146	12.1	12,569	15.1	94.0	3.6
5月末	11,860	19.3	13,427	23.0	93.8	3.7
(期末) 2021年6月16日	12,066	21.4	13,891	27.3	92.1	4.2

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率÷売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,942円 期末：12,066円 騰落率：21.4%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、積極的な財政支出が示されたインド政府予算案の発表や堅調な企業決算などを背景に保有株式が上昇したことに加え、円安米ドル高の進行を受けて対円でインド・ルピーが上昇(円安)したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より2021年1月中旬にかけて、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界経済の正常化期待に加え、インド政府によるワクチンの緊急使用の承認や米国における大規模な財政出動への楽観的な見方などを背景に、堅調な展開となりました。しかし1月下旬には、米国株式市場の調整などを受けて利益確定売りが優勢となり下落しました。2月に入ると、米国における追加経済対策への期待に加え、インド政府による積極的な財政支出を示した予算案の発表を支援材料に持ち直しました。その後は、米国長期金利の上昇やインドにおける感染再拡大などが警戒された一方、ワクチン接種進展による世界景気の回復期待などが支援材料となり、一進一退の展開となりました。5月から当作成期末にかけては、堅調な企業決算やインドにおける感染第2波のピークアウトを背景に、上昇基調で推移しました。

○為替相場

インド・ルピーは、円に対して上昇しました。

インド・ルピー対円為替相場は、当作成期首から2021年3月にかけて、米国長期金利の上昇などを受けた円安米ドル高を主因に、対円で上昇しました。4月には、インドにおける新型コロナウイルスの感染拡大を背景にルピーが対米ドルで下落したことに加え、円高米ドル安も進行したため、対円で下落しました。当作成期末にかけては、インドにおける感染拡大ペースの減速を好感し、対円で堅調に推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ(社会基盤)投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、株価バリュエーション面で投資妙味があり、堅固な財務体質を持つ銀行を中心に金融セクターに注目しています。また、経済活動の再開に伴い業績の回復が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターにも注目しています。

◆ポートフォリオについて

主に、インフラ(社会基盤)投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高や手数料収入の増加などを通じた業績拡大が見込まれる銀行を中心に金融セクター、所得水準の向上などを背景とした個人消費拡大の恩恵が期待される一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。個別銘柄では、堅固な事業基盤を有する民間銀行大手のICICI BANK LTD-SPON ADR(金融)やデジタル分野が成長をけん引する大手財閥のRELIANCE INDS-SPONS GDR 144A(エネルギー)などを組入上位としました。また、優秀な経営陣に率いられた資産健全性の改善が見込まれる民間銀行大手のAXIS BANK LTD(金融)や、オートメーション化事業を中心に業績拡大が見込まれるエンジニアリング大手のABB INDIA LTD(資本財・サービス)などを買い付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、優秀な経営陣に率いられ、強固な事業基盤を持つ銘柄を中心に投資していく方針です。業種では、設備投資拡大の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターや経済活動の正常化を背景に業績回復が期待される自動車関連などを中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	37円 ( 37)
(先物・オプション)	( 1)
有価証券取引税 (株式)	17 ( 17)
その他費用 (保管費用)	148 ( 4)
(その他)	( 144)
合 計	201

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2020年12月17日から2021年6月16日まで)

買 付	当 期			売 付	期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
銘柄	株 数	金 額	平均単価	銘柄	株 数	金 額	平均単価
HINDUSTAN UNILEVER LTD (インド)	千株 218	千円 741,097	円 3,399	HDFC BANK LIMITED (インド)	千株 561.9	千円 1,197,643	円 2,131
AXIS BANK LTD (インド)	496	503,860	1,015	INFOSYS LTD-SP ADR (インド)	504.8	965,409	1,912
SHREE CEMENT LTD (インド)	11.8	443,933	37,621	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	481.9	911,382	1,891
CUMMINS INDIA LTD (インド)	475	441,236	928	HINDUSTAN UNILEVER LTD (インド)	231.322	787,092	3,402
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD (インド)	70.4	319,105	4,532	RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A (インド)	110	704,227	6,402
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE (インド)	78.6	311,923	3,968	DIVI'S LABORATORIES LTD (インド)	106.22	561,269	5,284
EICHER MOTORS LTD (インド)	75.1	310,326	4,132	KOTAK MAHINDRA BANK LTD (インド)	167.2	461,004	2,757
COLGATE PALMOLIVE (INDIA) (インド)	129.7	296,990	2,289	HCL TECHNOLOGIES LTD (インド)	319.5	452,183	1,415
ABB INDIA LTD (インド)	129.358	269,723	2,085	ITC LTD (インド)	1,455.7	447,494	307
ITC LTD (インド)	819.1	256,021	312	BAJAJ FINANCE LTD (インド)	57	424,262	7,443

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■ 売買および取引の状況

(1) 株 式

(2020年12月17日から2021年6月16日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 590 ( ー)	千アメリカ・ドル 1,545 ( ー)	百株 10,967	千アメリカ・ドル 23,818
	インド	百株 55,003.97 ( ー)	千インド・ルピー 4,577,412 ( ー)	百株 113,866.47	千インド・ルピー 7,262,122

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2020年12月17日から2021年6月16日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	6,148	6,591	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
<b>(アメリカ)</b>					
ICICI BANK LTD-SPON ADR	8,507	4,128	7,265	800,343	金融
INFOSYS LTD-SP ADR	6,107	1,059	2,142	236,002	情報技術
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	2,205.06	1,255.06	7,662	844,061	エネルギー
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	16,819.06 3銘柄	6,442.06 3銘柄	17,069 <12.2%>	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円	
<b>(インド)</b>					
ESCORTS LTD	644	—	—	—	資本財・サービス
ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURA	1,321	3,468	203,779	307,707	金融
ALKEM LABORATORIES LTD	199	—	—	—	ヘルスケア
CAN FIN HOMES LTD	2,557.14	—	—	—	金融
CROMPTON GREAVES CONSUMER EL	5,737.53	—	—	—	一般消費財・サービス
PAGE INDUSTRIES LTD	—	46.55	139,865	211,197	一般消費財・サービス
PHOENIX MILLS LTD	—	947.07	77,602	117,180	不動産
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA	427	1,116	167,734	253,279	金融
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	1,077	—	—	—	金融
WHIRLPOOL OF INDIA LTD	277	—	—	—	一般消費財・サービス
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	—	589	181,632	274,265	金融
VARUN BEVERAGES LTD	1,785.57	—	—	—	生活必需品
DEEPAK NITRITE LTD	1,532.07	—	—	—	素材
TRENT LTD	2,132.82	—	—	—	一般消費財・サービス
TATA STEEL LTD	1,230	2,633.9	309,298	467,041	素材
CIPLA LTD	—	900	87,273	131,782	ヘルスケア
AXIS BANK LTD	7,596	11,076	831,696	1,255,862	金融
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	796.5	494.5	354,371	535,100	一般消費財・サービス
DLF LTD	—	5,920	182,809	276,042	不動産
ASHOK LEYLAND LTD	11,353	—	—	—	資本財・サービス
ASIAN PAINTS LTD	666	—	—	—	素材
HINDUSTAN UNILEVER LTD	2,133.22	2,000	478,390	722,368	生活必需品
STATE BANK OF INDIA	10,140	—	—	—	金融
TITAN CO LTD	607	—	—	—	一般消費財・サービス
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	1,636	4,632	223,216	337,056	エネルギー
ULTRATECH CEMENT LTD	640	631.87	421,349	636,238	素材
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	2,790	1,118	197,986	298,959	金融
ADITYA BIRLA FASHION AND RET	4,437.29	—	—	—	一般消費財・サービス
BHARAT FORGE LTD	—	2,700	200,205	302,309	一般消費財・サービス
CUMMINS INDIA LTD	—	4,380	370,788	559,891	資本財・サービス
DIVI'S LABORATORIES LTD	1,062.2	—	—	—	ヘルスケア
LUPIN LTD	—	1,017	120,661	182,199	ヘルスケア
SHREE CEMENT LTD	—	102	290,556	438,739	素材
TECH MAHINDRA LTD	2,201	—	—	—	情報技術
TORRENT POWER LTD	1,675	—	—	—	公益事業
GODREJ PROPERTIES LTD	—	530	75,914	114,630	不動産

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
TVS MOTOR CO LTD	1,555	3,692	232,411	350,941	一般消費財・サービス	
BATA INDIA LTD	927	—	—	—	一般消費財・サービス	
IPCA LABORATORIES LTD	227.63	—	—	—	ヘルスケア	
EICHER MOTORS LTD	—	751	207,538	313,383	一般消費財・サービス	
BAJAJ FINANCE LTD	570	—	—	—	金融	
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	7,596	—	—	—	金融	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	12,052	7,131	278,715	420,859	素材	
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	536	581	189,565	286,244	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	3,151.5	2,593.5	391,825	591,657	資本財・サービス	
DR. REDDY'S LABORATORIES	—	170	91,984	138,896	ヘルスケア	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	1,087	1,664	423,504	639,492	金融	
HDFC BANK LIMITED	7,957.8	2,338.8	348,539	526,294	金融	
ITC LTD	6,366	—	—	—	生活必需品	
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	1,882	3,144	254,223	383,877	一般消費財・サービス	
BHARTI AIRTEL LTD	8,664.56	4,854.56	263,359	397,673	コミュニケーション・サービス	
ABB INDIA LTD	1,019.72	2,100.3	355,780	537,228	資本財・サービス	
AMBUJA CEMENTS LTD	10,374	—	—	—	素材	
HCL TECHNOLOGIES LTD	3,195	—	—	—	情報技術	
INDIAN HOTELS CO LTD	12,263.68	13,893.68	189,579	286,264	一般消費財・サービス	
インド・ルピー通貨計	株数、金額	146,078.23	87,215.73	8,142,163	12,294,667	
	銘柄数 < 比率 >	43 銘柄	31 銘柄	< 79.9% >		
ファンド合計	株数、金額	162,897.29	93,657.79	—	14,175,074	
	銘柄数 < 比率 >	46 銘柄	34 銘柄	< 92.1% >		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2)先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国	百万円	百万円
SGX NIFTY 50 (シンガポール)	646	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2021年6月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
	14,175,074	92.0
コール・ローン等、その他	1,230,385	8.0
投資信託財産総額	15,405,459	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.16円、1インド・ルピー=1.51円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (15,354,334千円) の投資信託財産総額 (15,405,459千円) に対する比率は、99.7%です。

# ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年6月16日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>15,405,459,104円</b>
コール・ローン等	981,857,752
株式（評価額）	14,175,074,084
未収入金	24,537,039
未収配当金	15,896,787
差入委託証拠金	208,093,442
<b>(B) 負債</b>	<b>11,000,000</b>
未払解約金	11,000,000
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>15,394,459,104</b>
元本	12,758,564,223
次期繰越損益金	2,635,894,881
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>12,758,564,223口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	12,066円

\* 期首における元本額は18,333,013,768円、当作成期間中における追加設定元本額は18,726,585円、同解約元本額は5,593,176,130円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド12,758,564,223円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,066円です。

## ■損益の状況

当期 自 2020年12月17日 至 2021年6月16日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>42,366,140円</b>
受取配当金	42,386,875
受取利息	2,358
支払利息	△ 23,093
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>3,530,903,543</b>
売買益	3,807,060,017
売買損	△ 276,156,474
<b>(C) 先物取引等損益</b>	<b>124,262,022</b>
取引益	164,429,883
取引損	△ 40,167,861
<b>(D) その他費用</b>	<b>△ 238,101,025</b>
<b>(E) 当期損益金（A＋B＋C＋D）</b>	<b>3,459,430,680</b>
<b>(F) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 105,985,344</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 719,823,870</b>
<b>(H) 追加信託差損益金</b>	<b>2,273,415</b>
<b>(I) 合計（E＋F＋G＋H）</b>	<b>2,635,894,881</b>
次期繰越損益金（I）	2,635,894,881

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。